

公開シンポジウム 登壇者ご略歴

川口昭彦（一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 代表理事）（1:40~2:10）

一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 代表理事
独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 名誉教授

川口昭彦氏は、一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 代表理事を務めるとともに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 名誉教授である。同氏は、京都大学から化学分野の理学博士を取得した（1970年）後、東京大学において30年間にわたり、生命科学の教育研究に携わった。この間、アメリカ合衆国ハーバード大学に留学（1973-1975年）、日本脂質生化学研究会・千田賞および日本生化学会奨励賞を受賞した（1978年）。2000年から大学評価・学位授与機構（大学改革支援・学位授与機構改組前の組織）に教授として参画し、その後、評価研究部長、理事、特任教授を歴任した。また、同氏は、2007年から2009年までアジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）の副会長を務めた。2013年にはAPQN Quality Awards - Decennial Felicitationを受賞した。現在の研究分野は生命科学と高等教育質保証である。最近は、高等教育質保証に関する多数の論文や著作を発表している。

栗田佳代子（東京大学大学院教育学研究科 教授）（2:10~2:40）

東京大学 大学院教育学研究科 教授
大学総合教育研究センター 副センター長
大学院新領域創成科学研究科 特任教授
総長補佐

栗田佳代子氏は、東京大学大学院教育学研究科教授であるとともに、大学総合教育研究センターの副センター長を務めている他、大学院新領域創成科学研究科も兼務し、今年度は総長補佐を務めている。同氏は、2002年に東京大学において教育学の博士学位を取得した後、カーネギーメロン大学統計学部においてVisiting Scholarを務めた後、大学評価・学位授与機構助手に着任し、助教、准教授を歴任し、その間、スタンフォード大学に客員研究員として在籍した。その後、東京大学におけるプレFDプログラムである東京大学フューチャーファカルティプログラムの立ち上げのため異動し、現在まで同プログラムを担当している。現在は、教育学研究科および新領域創成科学研究科において教育研究に従事しつつ、大学総合教育研究センターの副センター長として、全学のFDを担当している。

専門はファカルティ・ディベロップメントであり、特に、教育改善および教育業績の可視化手法であるティーチング・ポートフォリオおよびプレFDプログラムが研究分野である。

船木茂人（文部科学省 総合教育政策局生涯学習推進課室長補佐）（3:00～3:30）

文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室 室長補佐に在職し、専修学校制度を担当。

同氏は、国立大学勤務を経て、2001年に文部科学省に着任し、生涯学習推進課係長、琉球大学課長、国立科学博物館課長、文部科学省調査企画課課長補佐などを歴任した後、2021年から現職。

圓入由美（文化庁 国語課長）（3:30～4:00）

平成8年文部科学省入省。

研究振興局学術機関課、高等教育局学生・留学生課、国立大学法人支援課において法人評価、奨学事業などに携わった。また、生涯学習政策局政策課において第1期教育振興基本計画の策定、同局専修学校教育振興室においては、職業実践専門課程の検討などを担当した。また、初等中等教育局外国語教育推進室において現行学習指導要領の外国語教育の改正などに携わった。その後、文化庁において、文化財美術工芸や美術館・博物館などの振興の業務などの担当を経て、現在、国語課において国語、外国人の日本語教育を担当している。